

一方通行ではなく「お互い様」の関係で

松下 私は、これからは、当事者の時代だと思っている。今日は、障害者福祉について、皆さんの思いを率直に語ってもらえたらと思う。

磯田 「これからは」ということは、今までは？

松下 当事者の中には、自分の思いを生活に反映できている人もいるが、多くは支援者・家族主導で来たのかなと。

古川 逆に、当事者が支援者に寄りかかっている部分もあるよね。また支援



久留米市障害者地域生活 支援協議会 当事者分科会

座談会 これからの障害者福祉を語ろう

今回、当事者の目線で障害者福祉の現状と課題を語り合おうと、7名の方々にお集まりいただき、座談会を実施しました。通常の支援者での議論では出てこない話題ばかりで、全文を載せられないのが残念ですが、ぜひご一読ください。

|     |                                     |  |                        |  |
|-----|-------------------------------------|--|------------------------|--|
| 参加者 | 古川 克介氏<br>磯田 重行氏<br>江田 由美氏<br>笠 恒久氏 | 地域活動支援センターⅢ型フロンティア<br>リカバリーセンターくろめ 施設長<br>惣菜処ぼれぼれ(就労A型)就労メンバー<br>当事者分科会長 | 川島 千佳<br>松下 航<br>大力 陽子 | 久留米市障害者福祉課<br>久留米市南部障害者基幹相談支援センター<br>久留米市西部障害者基幹相談支援センター |
|-----|-------------------------------------|--|------------------------|--|

されることがエンパワメントにもつながると思う。

大力 休みの日は何をしていますか？

江田 洗濯、掃除、テレビ観たり、ピデオ観たり。

川島 一人暮らしは楽しいですか？大変？

江田 草取りもあるし大変。私のストレス解消は仕事を



仕事して、みんな終わった後に話をするのがいい。

者の中には、何もかも解決しなければと考えてしまう人もいます。お互い関わる中で、支援者も成長するし、障害者も成長する。色々な障害者と付き合っていくと面白いよ。

磯田 精神障害というのは病気が障害というよりは、回復が遅い気がする。自分で何とかしようとする、5、10年かけて回復できたりする。今、僕は支援者側でもあるけど、自分の職場では支援者も当事者もお互いに期待する。一方通行じゃな



何が支援に重要かといわれたら、一緒にいること。

い。それと、何が支援に重要かといわれたら一緒にいること。会話がなくても時間を共にすることだと思ってる。

江田 私はヘルパーさんに家事をたくさんしてもらって暮らしている。でも、自分でできることは、自分でするようにしている。困った時や、分からないことは、後見人や仕事場のスタッフにお願いしている。

友だちづくりの支援とは

古川 支援者と当事者は立場が違う。友だちじゃない。一方で、当事者は友だちが少ない。例えば、悪い女あるいは男に引っかけるとする。親や支援者が止めても止まらない時があるが、友だちに「あんな人、止めとけ」と言われたら止まることもある。支援者に大事なの

支援者に大事なことは、友だちづくりをどう支援するか。



障害者の問題は当事者抜きに語れない

古川 先日、西日本新聞社に行ったら、2階だった。いつの間にか場所が変わったのかと思ったら、昔から2階だったらしい。以前は歩いていたら気づかなかった。車椅子にならないと、精神障害にならないと、目が見えなくなると分らないことがある。だから、障害者の問題は当事者抜きに語つたらいけない。

磯田 障害者と健常者に分けることの弊害もあるのでは。健常者も困難がありつつ生活しているのだから。分けることで、ある人は優越感を感じて、ある人は権利を主張しすぎたりする場面もある。

江田 一人で暮らしてきて、職場のスタッフを頼りにしてきてよかったなと思うし、ヘルパーさんとつながってよかったと、ありがたく思っています。

松下 当事者グループで、色々なつながりができて自分の心の幹が太くなったからこそ、皆さんが今ここに来ていると思う。そういうのを大事にしたいといけないと思う。

古川 最初は障害者のための環境改

善でも、一般の人たちの役に立ったこともある。空港でも大きいエレベーターはキヤリケースが運びやすいし、ALSの方が要求したから在宅医療が進んだという点もある。

磯田 精神の支援に関しては、医学的なやり方だけではなく「ピアサポーター」。当事者が一緒にあって過さず、活動する点が注目されていて、もっと広まるのを願っている。病院を批判するのは簡単。閉じ込めて。大事なものは、受け皿として福祉が頑張ること。単価の違いで福祉は儲からんとかあるけど。福祉業界にもうちよつと頑張つてほしいなと思う。

※ALS：筋萎縮性側索硬化症



令和元年10月 久留米市役所 3階会議室にて